

2002年度第8回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日時：2003年(平成15年)3月5日(水) 15:30～16:20

場所：L-911

出席者：計 78名

欠席者：計 32名

配布資料(事前配布)：

- 1 企画書(最終報告/新ホフマン計画案) 事業会社の設立
- 2 企画書(最終報告/新ホフマン計画案) 上智大学の生涯教育ビジョン(2002年度第7回会議の事前配布資料)
- 3 2002年度第7回 長期計画企画拡大会議 議事記録

配布資料(当日配布)：

- 1 [資料1]企画書(最終報告/新ホフマン計画案)について 意見書
- 2 [資料2]長期計画企画拡大会議 進捗報告書

会議資料(プロジェクタ投影)：

- 1 専門部会各検討専門委員会の企画書案(中間報告)

議 事

1. 専門部会各検討専門委員会の進捗について

専門部会各検討専門委員会における検討事項のうち、理念や具体的なポイント等をまとめることができた計画について、企画書案(中間報告)として発表した。

なお、中間報告に対する意見、要望、提案があれば、事務局まで寄せられたい。

(1)人事計画等検討専門委員会(報告：委員長・青山人事担当理事)

(a)「職員人事制度の再構築」

青山人事担当理事から、スライド(プロジェクタ投影資料)をもとに説明があった。

2. 新ホフマン計画(案)の審議について

専門部会各検討専門委員会における企画案の検討を踏まえ、最終企画案(最終報告)を「新ホフマン計画(案)」として審議することとした。

(1)財政計画等検討専門委員会

(a)「事業会社の設立」

- Mohr財務担当理事(財政計画等検討専門委員会委員長)から最終企画案(最終報告)に関する説明があり、その後、小瀬垣・財務担当理事付部長(財政計画等検討専門委員会事務担当)から、最終企画案(最終報告)の朗読があった。

## (2)生涯教育検討専門委員会

## (b)「上智大学の生涯教育ビジョン」

- 菅原・公開学習センター長(生涯教育検討専門委員会委員長)から、最終企画案(最終報告)についての説明があり、その後で質疑応答が行なわれた。

## (質疑応答)

- Q. 最終報告書にある「理念」は、他大学の公開学習講座でも見られるような文章である。上智大学の特徴が出ていない。生涯学習講座においても「キリスト教ヒューマニズムに基づく教育」を行なうという文言を入れるべきではないか。
- A. 上智大学学則にキリスト教ヒューマニズムに基づく教育を行なうことが謳われているが、最終報告書にある「理念」は、生涯学習のみに焦点を当てて作成したものである。委員会に持ち帰り、文言を検討したい。
- Q. 大学、大学院の開講授業との連携を図ることについて賛同する。  
生涯学習講座の場所として、現6号館解体後に予定されている第2麹町ビル(仮称)を使用するという計画はないのか。現状では教室に余裕がなく、今後発展的に展開できる状況にない。また、生涯学習講座にふさわしい環境を確保するためにも、新宿通りに面したビルを利用する方がよいと思われる。ショウ・ウィンドウ的な機能も考慮した方がよい。
- A. 第2麹町ビルの使用については、検討中であったため、今回の最終報告には載せていない。しかし、通りに面した場所で行なう方がよいと考えている。
- Q. ソフィア会にとっても、生涯学習は主要テーマとして考えている。ソフィア会会員も大学の生涯学習講座については、大いに興味があるところである。ソフィア会では月例講演会なども開催しているが、生涯学習講座との連携をもっと深めていきたいと考える。  
また、四ッ谷という場所の優位性を考え、生涯学習講座を本格的な収益事業として考えていくことも必要なのではないか。
- A. ソフィア会との連携は、ソフィア会事務局と公開学習センターとの間で少し行なっているが、双方の協力体制を更に強化したい。  
収益事業化についても、委員会では視野に入れた検討を行なっている。
- Q. 「7. 将来の生涯学習」のうち、情報ネットワーク利用に関して、短大との連携を例に挙げたが、社会福祉専門学校との連携もお願いしたい。
- A. 例として短大を挙げたが、社会福祉専門学校との連携についても検討していく。

最終企画案(最終報告)の審議のあと、事務局から意見書提出の方法について説明があった。

- 今回の質疑応答以外にも、委員からさらに意見を聴取したいので、当日配布資料にある『意見書』に、質問、意見、要望等を記入して、2003年3月20日(木)までに事務局(創立100周年記念事業推進室)まで提出していただきたい。なお、配布した『意見書』を用いなくても構わない(様式は自由である)。また、電子メールによる提出も可能である。

### 3. 2001年度～2002年度の活動報告について

議長から、当日配布資料「長期計画企画拡大会議 進捗報告書」について説明があった。

また、高祖理事長から、以下の発言があった。

- 2003年(平成15年)3月末をもって委員任期が満了となり、長期計画の“1クール”が終了することとなる。特に理事長・学長任命で参画していただいた委員および特別委員の方々には、この場を借りて厚く御礼申し上げる。
- 2003年4月以降、大学評議会、学院評議員会、理事会、並びに、職責で入られている委員の方々には、引き続きご尽力いただきたい。

### 4. 2003年度 長期計画企画拡大会議 開催日程について

議長から、2003年度の長期計画企画拡大会議の開催予定について説明があった。

- 2003年年度の開催予定は、以下の通りである。
- 「大学評議会終了後」となっている回は、都合により、大学評議会の前に変更となる可能性があることをあらかじめご了承ください。

2003年 5月 7日(水) 15:30～  
6月 4日(水) 15:30～  
7月 2日(水) 15:30～  
9月 24日(水) 大学評議会終了後  
11月 5日(水) 15:30～  
2004年 1月 28日(水) 大学評議会終了後  
3月 3日(水) 15:30～

次回会議は、2003年(平成15年)5月7日(水) 午後3時30分から、L-911室で行なうこととする。

以上